

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業			事業番号	016-004
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	企画推進担当・事業推進担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造			
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合					
		寄与するKPI	有	現状値	29.5%(2025年推計値)	目標値	30.5%(2025年度)			
			有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7			
			有	取組	ウォーカブルな都市空間の形成					
			有・無	指標名	—					
			無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画									
SENBUKU New Design（本市策定）、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン（泉北ニューデザイン推進協議会策定）、 榎・美木多駅前活性化土地利用構想（本市策定）										
3	事業開始年度		平成 22 年度			終了（予定）年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		都市計画法、道路法、都市公園法							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁								
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		泉北ニュータウンに関わる市民、事業者など（南区人口約14万人）					対象数	単位		
							140,000	人			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		泉北ニュータウンの駅前における様々な取組と連携を図りながら、駅前地域の道路や公園、駅前広場等の都市基盤の再編整備を行い、駅前地域の安全・安心の確保及び利便性向上を図る。								
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		①泉ヶ丘駅前再編整備 ・三原台1丁交差点等の道路改良を行い、三原台1丁交差点付近の円滑な車両通行空間を創出する。 ・歩行者交通の増加が予想される三原台156号線の道路拡幅等を行い、安全・安心な歩行空間を創出する。 ・田園・三原公園等の再編整備を行い、地域の憩い空間を創出する。 ②榎・美木多駅前再編整備 ・警察・交通事業者等関係者と協議・調整し、駅前広場の再編整備を行い、駅前の更なる活性化や利便性の向上を図る。 ③光明池駅前再編整備 ・今後想定される土地利用転換やそれに伴う機能導入を見据え、あらかじめ行政により、地域全体で調和のとれた土地利用の方向性と行政の取り組むべき施策の方向性を示した基本方針を策定する。								
		※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		設計業者及び工事業者								
10	公民連携・協働事業										

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
				目標値	17	33	43	100
				実績値	14	29		
		達成率						
		82%		88%				
当該指標を選定した理由		全体の再編整備工事了了目標に対する、各年度の工事了了の目標と実績をもって達成状況を確認するため						
目標値の設定根拠・算出方法		整備完了面積／整備計画面積×100						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				目標値	9	14	14	
				実績値	9	11		
		達成率		100%		79%		
当該指標を選定した理由		再編整備完成に向け、各年度の業務や工事の発注計画とその実績より、事業の取り組み状況を把握するため						
目標値の設定根拠・算出方法		設計業務及び工事（入札案件）の発注件数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業	事業番号	016-004
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	493,344	640,767	1,596,004	1,036,374	1,642,934
13財源内訳					
国支出金	171,861	208,928	437,346	285,090	448,704
府支出金			15,000		30,000
市債	256,700	335,700	958,000	594,600	990,700
その他（寄付金、繰入金等）		3,890	114,950	2,000	123,500
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	64,783	92,249	70,708	154,684	50,030
14人件費 (b)	49,200	36,900	36,900	31,980	31,590
15年間経費(c)=(a)+(b)	542,544	677,667	1,632,904	1,068,354	1,674,524

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源			
								R4	決算	29,006
16事業費内訳	委託料（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R4	決算	29,006	7,730	工事請負費（柵・美木多関係）	R4	決算	217,825	15,877
		R5	予算	79,700	4,600		R5	予算	691,400	13,500
	委託料（泉ヶ丘公園関係）	R4	決算	22,078	14,078	使用料及び賃借料（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R4	決算	1,391	1,091
		R5	予算	40,300	1,100		R5	予算	320	0
	委託料（柵・美木多、光明池関係）	R4	決算	19,294	10,494	備品購入費（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R4	決算	1,925	1,925
		R5	予算	34,300	2,300		R5	予算	0	0
	工事請負費（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R4	決算	740,624	101,378	負担金（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R4	決算	2,333	213
		R5	予算	758,480	23,840		R5	予算	13,600	0
	工事請負費（泉ヶ丘公園関係）	R4	決算	1,067	1,067	その他	R4	決算	831	831
		R5	予算	20,000	0		R5	予算	4,834	4,690

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 再編整備の整備計画面積	㎡	140,900	140,900
② 上記①にかかる年間経費	千円	677,667	1,036,374
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,810	7,355

備考（算出についての説明等） 駅前再編整備の計画面積に対する各年度の決算額により単位当たりの経費を算出

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 駅前の安全・安心の確保及び利便性向上に向けた様々な都市基盤の整備に向け、前年度に引き続き、関係者（地元、警察、交通事業者等）との協議・調整を進め、整備工事や設計を進めているが、社会情勢の影響で建設資材や建設物価が高騰し、その影響による入札不調や積算の見直し等により、年度当初の事業計画に遅れを余儀なくされた。
令和2年度からは道路改良工事に、令和3年度からは公園再整備工事に着手し、令和4年度から整備工事が本格実施となったことから経費の増額が見受けられた。今後事業の完了年度に向けては事業は工事が主となることから、経費の増加が見込まれる。なお、財源については、国庫補助金を確保する等、一般税源の縮減に努めている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 泉ヶ丘駅前においては、近畿大学医学部等の開設を見据え、駅からの安全・安心な歩行空間の確保に向けた道路拡幅・橋の架替工事や、地域の憩いの空間となる公園再整備工事に取り組み、持続可能なまちをめざした社会資本の活用に寄与した。
柵・美木多駅前においては、駅前周辺の新たな土地利用や地域課題に対応すべく、関係者（地元・警察・交通事業者）と協議・調整し、北側広場工事を実施するなど、駅前の更なる活性化や利便性向上に繋がる駅前広場再編を進めており、持続可能なまちをめざした社会資本の活用に寄与した。
光明池駅前においては、将来にわたって活気があり、より豊かに暮らせる駅前地域を実現するため、光明池駅前地域活性化基本方針（案）を策定し、パブリックコメントを実施した。
本事業により、安全・快適な歩行空間の拡充や人々の賑わい、回遊性の創出など、多様なライフスタイルに応じた駅前エリアの機能再編により、基本計画等のKPIの目標達成に寄与している。